

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 9 行政機能が高くなる**

**行動目標 9-3 行政活動の財政基盤を強化する**

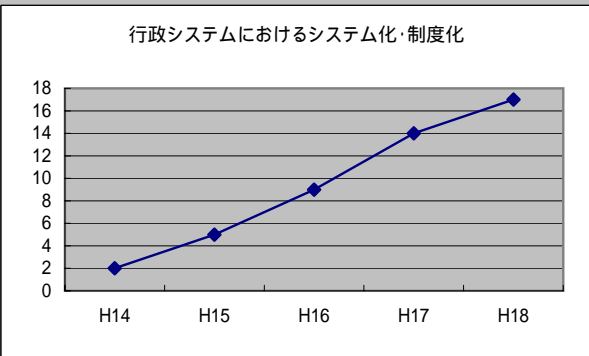
(所管課名 経営企画部行政経営課)

任務	目的志向・成果重視による行政経営システムを構築する
----	---------------------------

**任務の成果・活動指標の推移**

**行政システムにおけるシステム化・制度化数**

H14実績	2
H15実績	5
H16実績	9
H17実績	14
H18目標	17



**指標の説明**

行政経営システムの構築状況については、行政経営の視点から新たに導入した行政システムにおけるシステム化及び制度化の数を指標とした。

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

平成16年度については、業務棚卸表による財源配分方式による予算編成システムを基本に平成15年度事後評価を行い、主要施策実績報告書等により決算への反映を進めるなど、マネジメントサイクルの推進を図った。また、行革プランの推進については、外部委託等に関する基礎調査を実施し、外部委託等に係る課題整理を行ったほか、指定管理者制度の導入に関して基本方針を策定し、通則条例を平成17年3月に制定した。行政評価における指標や目標の設定が適切でない、評価説明が不十分等課題に対しては、業務棚卸表のブラッシュアップ、2次評価を実施した。

平成17年度については、集中改革プラン(平成17～21年度)の策定、外部評価に係る課題や実施方法を検討するため専門家による行政評価委員会の設置した。また、指定管理者制度の導入については、募集、選定審査、指定の手續等に関する基準の策定や運用体制を整備し、平成18年4月から27施設について制度の導入を図った。さらに、パブリックコメント手續制度について、パブリックコメント手續条例を平成17年10月に制定した。

**平成18年度**

集中改革プラン(平成17～21年度)については、計画的に取り組むとともに、市場化テストについては、法制化を踏まえ、制度の研究と導入検討を行う。指定管理者制度の導入については、公募、選定審査等手續の改善、管理業務の実施等に係るチェック体制の充実を図る。

業務棚卸表と財源配分方式による予算編成システムを基本に、外部委託等アウトソーシング、組織機構の見直し、パブリックコメント手續など行財政システム全般にわたる改革を引き続き進める。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

集中改革プランの計画的な実施。

業務棚卸表と財源配分方式による予算編成システムを基にしたマネジメントサイクルの推進。

行政評価における指標や目標設定のレベルアップ、評価技法等のスキルアップ、評価の多角化。

パブリックコメント手續制度の適正かつ円滑な運用。